

2022年2月9日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第4回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会, WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年1月25日(火) 13:30~17:00
開催場所	Web会議(Zoom)
参加人数	20名 佐々木主査, 若杉幹事, 小林委員, 小山委員, 寿楽委員, 田中委員, 半井委員, 廣野委員, 松島委員, 安江委員 原子力発電環境整備機構:高橋, 菅原 オブザーバー:杉山・草野(バックエンド部会), 北村・安楽(資源エネルギー庁) 事務局:朽山, 石川, 立川, 原田
議事	<ol style="list-style-type: none">1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており, 記載内容については確認済み。2. 各委員からのコメントを踏まえた語彙基盤の検討 前回委員会での議論をうけて改定した語彙基盤(「地質環境」, 「隔離・閉じ込め」)を, 事前に委員に送付し, コメントを依頼していた。それらのコメントを踏まえて, 記載内容の検討を行った。 本日の検討内容を踏まえ語彙基盤を修正し, 幹事会にて確認後, 各委員に送付して最終確認をすることとした。3. 他学会へのアプローチと有効性の確認について 他学会へのアプローチについては, 前回委員会においていくつか提案があり, 適宜情報収集しながら次年度以降に実施することを確認した。 有効性の確認については, 語彙基盤がまだ検討途中であり2語しか取り扱っていないこと, 時間的な制限等から, 本年度実施可能な範囲で相談しながら進めることとした。4. 報告書の取りまとめと今後について 事務局より, 本年度の報告書目次(案)と, 今後の取りまとめにあたってのスケジュールおよび手順について説明し, 了承された。5. 事務連絡 委員会出席以外に本調査でかかった時間に対しての謝金があるため, 従事日報の作成および提出について依頼した。
備考	

2022年1月12日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第3回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年12月27日(月) 13:30～16:30
開催場所	Web会議(Zoom)
参加人数	18名 佐々木主査、若杉幹事、小林委員、小山委員、寿楽委員、田中委員、半井委員、廣野委員、松島委員 原子力発電環境整備機構:高橋、菅原 オブザーバー:杉山・草野(バックエンド部会)、北村(資源エネルギー庁) 事務局:朽山、石川、立川、原田
議事	1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており、記載内容については確認済み。 2. 各委員からのコメントを踏まえた語彙基盤の検討 幹事会で作成した語彙基盤のたたき台(「地質環境」、「隔離・閉じ込め」)を事前に委員に送付し、コメントを依頼していた。それらのコメントを踏まえて、記載内容の検討を行った。 本日の検討内容を踏まえ、語彙基盤を修正し、第4回特別専門委員会前に配布して再度各委員にご確認いただくこととした。 3. 今後の進め方について 第4回特別専門委員会における議事、本年度成果の取りまとめに伴う手順およびスケジュール、報告書の構成案について説明を行い、了承された。
備考	次回開催は、2022年1月25日(火) 13:30～16:30 オンライン会議での開催を予定

2021年11月17日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年11月16日(火) 13:30~16:30
開催場所	Web会議(Zoom)
参加人数	21名 佐々木主査、若杉幹事、小山委員、寿楽委員、田中委員、半井委員、 廣野委員、松島委員、安江委員 原子力発電環境整備機構:梅木、渡部、高橋、菅原 オブザーバー:杉山・草野(バックエンド部会)、安楽・北村(資源エネルギー庁) 事務局:朽山、石川、立川、原田
議事	<p>1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており、記載内容については確認済み。</p> <p>2. 前回委員会の振り返りおよび総合討論 第1回特別専門委員会では、各委員から地層処分に関する説明を聞いた際に感じた違和感や疑問点に関する提示があったが、その内容について十分な議論を行うことができなかった。このため、前回委員会における議論の振り返りを行った後に、「地層処分の専門家」と「他分野の専門家」の認識の違いを解消するためにはどのようなアプローチが考えられるかについて、総合討論を行った。</p> <p>3. 今後の進め方について これまでに提示された「地層処分の専門家」と「他分野の専門家」の認識の違いから語彙を選定し、具体的に語彙基盤としての内容を記載したたたき台を基に検討を進めることとした。語彙基盤のたたき台作成にあたっては、適宜主査と幹事に確認を取りながら進めることとし、選定した語彙の専門分野に応じて、特別専門委員会の委員に記載内容の確認を依頼する。</p>
備考	次回開催は、12月27日(月) 13:30~16:30 オンライン会議での開催を予定

2021年10月20日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年10月15日(金) 13:00~15:00
開催場所	Web会議(Webex)
参加人数	23名 佐々木主査, 若杉幹事、小林委員、小山委員、寿楽委員、田中委員、半井委員、廣野委員、松島委員、安江委員 原子力発電環境整備機構: 梅木、渡部、高橋、菅原 オブザーバー: 中山(日本原子力学会)、杉山・草野(バックエンド部会)、安楽・北村(資源エネルギー庁) 事務局: 朽山、石川、立川、原田
議事	<ol style="list-style-type: none">1. 開会挨拶、メンバー紹介 佐々木主査より開会挨拶があり、引き続き委員会委員、事務局、オブザーバーの自己紹介が行われた。2. 委員会の設立趣意及び進め方 原子力発電環境整備機構の梅木理事から設立趣旨説明があり、引き続き事務局より今後の進め方について説明を行った。3. 地層処分に係わる専門家間の認識の違いについて これまで地層処分に関する説明を聞いた際に感じた違和感や疑問点について、各委員から説明を行った。4. 企画セッションからのフィードバック 日本原子力学会 2021 秋の大会 企画セッション「地層処分に関する安全コミュニケーション」において出された意見について紹介した。5. 総合討論 各委員から提示された専門家間の認識の違いについて総合討論を行った。6. 事務連絡 事務局より、謝金の金額と事務手続きについて確認を行い、了承された。また情報管理教育の一環として、情報管理について注意喚起を行った。
備考	次回開催は、11月16日(火) 13:30~16:30。状況を鑑みて、リモート会議か対面を含めたハイブリッド会議の開催を検討する。